

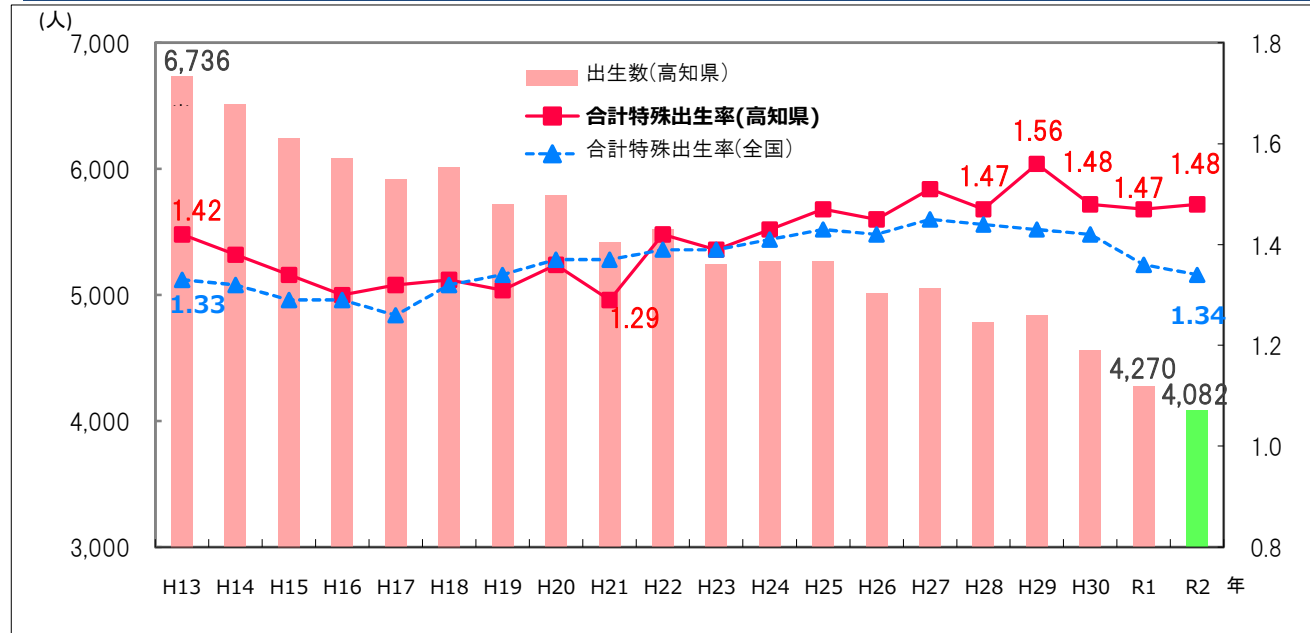
<令和2年>

- 出生数は4,082人と過去最少（対前年△188人）
- 合計特殊出生率は1.48で上昇（対前年1.47から0.01上昇）
- 【数値目標】令和6年:1.7
- 婚姻件数は2,440組で過去最少（対前年△190組）

[全国]

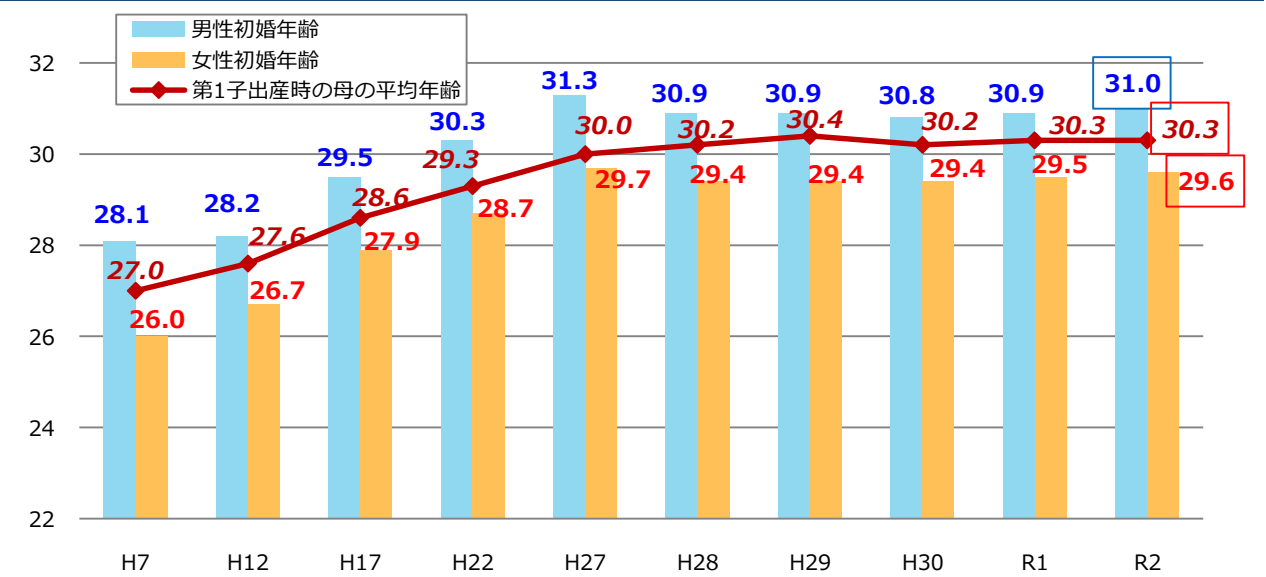
- 出生数は840,832人と過去最少（対前年△24,407人）
- 合計特殊出生率は1.34と5年連続の低下（対前年△0.02ポイント）
- 婚姻件数は525,490組で戦後最小（対前年△73,517組）

[表1] 出生数と合計特殊出生率の推移



合計特殊出生率は平成21年の1.29を底にここ数年は1.5前後で推移

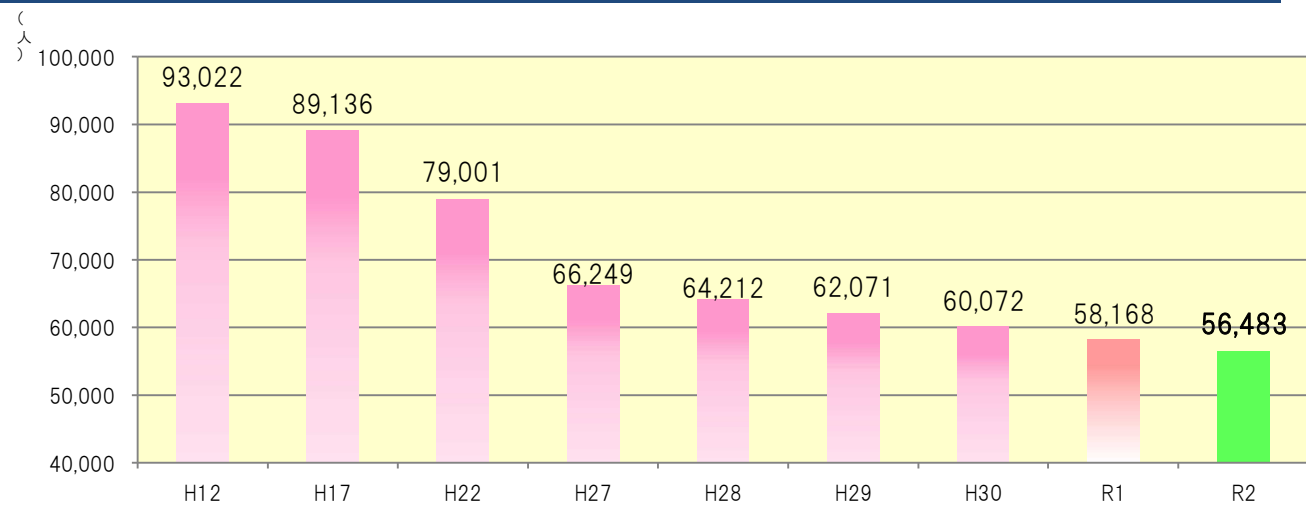
[表2] 平均初婚年齢と第1子出産時の母の平均年齢の推移



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

平均初婚年齢は30歳前後で推移

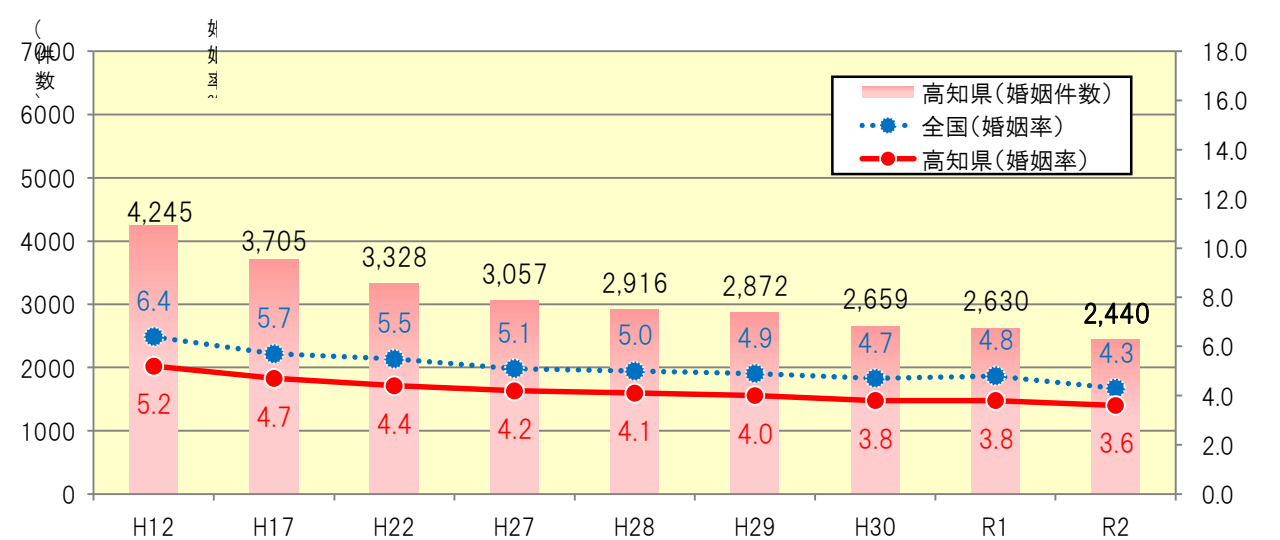
[表3] 若年女性数(20~39歳)の推移



(出典) 総務省「国勢調査」
* H28~R2は県人口推計

若年女性の人口は減少傾向

[表4] 婚姻件数と婚姻率の推移



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

婚姻件数、婚姻率とも減少傾向